

しのはらすけいち
篠原助市による教育学の理論と体系、その全貌を明らかにする全7巻

〈学術著作集ライブラリー〉

篠原助市 著作集

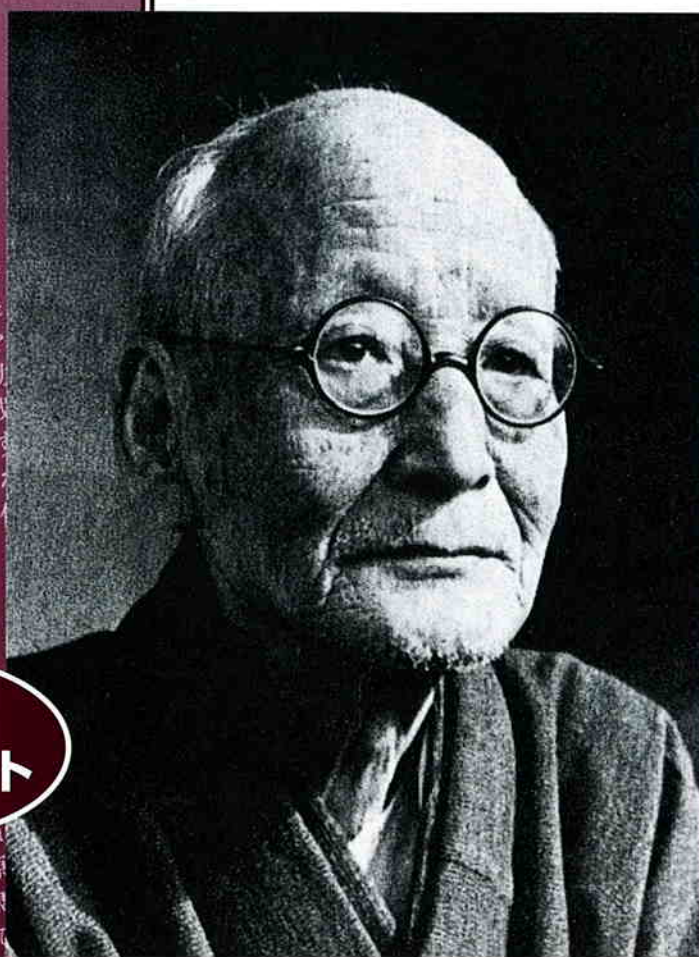
全7巻

解説・木内陽一（鳴門教育大学教授）

教育研究について考えるときに、

常に立ち返って読み直すことを求められる

戦前期の日本教育学史における最高峰



発行 学術出版会
発売 日本図書センター

限定
100セット

極的辩证發展を助成する

主観的體驗の世界は、生命の限りな

す光である。價値に照らされない

らさない價値は如何に輝かうとも、

始めて眞の生命であり、價値は生命を

値、逆に又、價値に透照された生命は教育の目標である。

又、この世界をより麗はしきものとして神に返す。」と

これこそ、一種

篠原助市 著作集について

1. 日本の教育学史の中で特に注目し値する篠原助市の体系的教育学。その理論と体系の全貌をとらえるために必要な著作を全7巻に集成。

各巻の内容

第1巻

批判的教育学の問題 (東京宝文館 一九三二(大正二一)年)

一、最近の教育理想 二、生活準備と連続的發展 三、社会的教育学の概念 四、教育即生活論 五、創造的自由活動と類化 六、個性と教育 七、自由と創造と教育 八、教育の根本原理としての弁証法 九、学習動機としての論理的確信 十、愛と教育 十一、チューイーの教育論 大正期新教育運動との取り組みを通して、「自然の理性化」をキーワードに自己の教育理論の体系化へ向かった篠原助市。「教育とは人をその現に「ある」状態より「あらねばならぬ」状態に引きあげる働きである」「個性と教育」と宣言し、その体系化の一里塚となった記念碑的な著作。

第2巻

理論的教育学 (教育研究会 一九二九(昭和四年))

第一章 教育の意義 第二章 教育の理念 第三章 教育の限界と陶冶性 第四章 教育の方法と心理学 第五章 教育の主体及び客体としての児童 第六章 教育的価値 第七章 形式的陶冶と教育 第八章 文化価値と教育の方法 第九章 方法上の原理 「批判的教育学の問題」の思考形式を受け継ぎながら、「教育といふ現象の純粋な姿」、教育の「真理性」を把握することを意図して、より体系的に展開した篠原の主著。

第3巻

教育の本質と教育学 (教育研究会 一九三〇(昭和五年))

第一章 社会的同化と教育 第二章 発達 第三章 個人及び社会と教育 第四章 助成 第五章 陶冶と教育及び教授 第六章 行為の諸相と根本意思 教育的価値 第七章 形式的陶冶と習慣 第八章 教育学の自立と普遍性 第九章 教育学の方法と体系 第十章 科学としての教育学 第十一章 心理学及び哲学と教育学 前半で篠原の考える教育の本質を、「発達」「助成」「陶冶」「根本意思」などの基本概念に即して論じ、後半では自立的教育学の方法論上の問題を論じる。議論の稠密さ、概念規定の厳密さ、視野の広さにおいて卓越した、金字塔ともいえる学位論文。

第4巻

教育断想—民族と教育具の他 (宝文館 一九三八(昭和十三年))

第一部 民族と教育(特に教育理想としての民族精神) 自由と愛(再び民族と教育につきて) 教育的教授の再認識(地に即く国民教育) 教育の両極/体育私言/方法主義の限界/習慣と其の限界/問の本質と教育的意義/教育科学と教育学 第二部 ケルシエンシュタイネルの教育思想/デュルタイと文化教育学/フリッツシュアイゼン・ケールルの教育説(特に教育学の類型に就て)/ジェンティールの教育思想 前半では篠原のいう「実質的教育学」について、後半ではケルシエンシュタイナーやデュルタイなどの教育学についての考察を述べる。

内容見本

「第3巻収録『教育の本質と教育学』より(65パーセント縮小)」

蓋ふ自然の理性化が何を意味するかについて詳説して置いたから、こゝに之を繰り返す必要を見ない。唯、教育学の對象が自然としての存在でも、又価値としての理念的存在でもなく、一種特異の事實であり、特異の事實なるが故に、教育学は自己特有の足場を有し、従つて他に依存しない、獨立の科學たり得るの可能性を有することを示せば足りる。

併し「自然の理性化」といふ丈では教育現象の特異性は、まだ完全に規定せられてゐない。自然の中に価値の實現せられ行く過程を取り扱ふ科學は唯、教育学のみでない。文化科學としての歴史も亦自然と価値の結合、もしくは個性の一回的な価値實現の過程について考へる。然らば同じく自然と価値の結合を對象としながら、歴史と教育学の差異は何處に存するか。かく問うて私は、教育現象をば前代と後代の關係からして、個性の中に価値を實現せしむる過程と見、前代と後代といふ見地に於て、歴史と教育学の考察點の相違を發見する。前代と後代の關係、ここに、我々は教育に於ける自然の理性化と歴史に於ける自然の理性化とを區別する本質的な徴表を發見するのであるが、かかる見地を學的に嚴密に定立したのは、シュライエルマッヘルで

2. 入手が困難となつていた理論的・体系的観点から著された作品群を収録。全ての教育研究者にとって必携の著作集。

3. 第7巻に木内陽一(鳴門教育大学教授)による、篠原助市のドイツ教育学との取り組みにも留意した解説を付す。

第5巻

シュライエルマッヘル (岩波書店 一九三九(昭和一四年))

第一章 経歴と時代 第二章 教育学の哲學的基礎 第三章 教育の任務と教育学 第四章 教育作用の對象と形式 第五章 教育の場所と方法 自伝「教師生活五十年」によれば「自然の理性化」という篠原の教育理解を哲學的に基礎づけるのに役立ったのは、フリッツシュアイゼン・ケラーに示唆されたシュライエルマッヘルであったという。篠原の唯一の人物研究であり、篠原教育学にとって特異な位置を占める書物。

教育学(岩波全書) (岩波書店 一九三九(昭和一四年))

第一章 歴史的課題としての教育 第二章 教育の自然形式と文化形式 第三章 陶冶 第四章 教育者 第五章 教育的關係 第六章 教育の形態と作用 第七章 教育の統一 昭和初期、篠原は、「個」の自立に焦点をあてる考え方は、民族や国家という歴史的に形成された社会的な制度とどのように調和し、それを基礎づけることができるのかに取り組んだ。これまで「自然の理性化」としてきた教育を「個人の歴史化」へと再定義し、回答を見出そうとした一冊。

第6巻

教授原論—特に国民学校の授業 (岩波書店 一九四二(昭和一七年))

第一章 学校教育の意義と限界 第二章 教授と其の目的 第三章 教科書と教材 第四章 教授内容の関連と統合 第五章 教授の一般的進行 第六章 認識と教授 第七章 体験と教授 第八章 表現と教授 第九章 練習 第十章 教授の一般形式と特殊形式 第十一章 教授の様式 第十二章 学習と学習態度 第十三章 学校生活と教授及び教育者 国民学校への制度改革と関連させつつ、学校教育を主題とした一冊。篠原教育学の体系において、戦後刊行された「訓練原論」と対になる著作。

第7巻

訓練原論 (宝文館 一九五〇(昭和二五年))

第一章 意思と訓練 第二章 氣質と性格 第三章 「しつこく」訓練の外部的手段 第四章 身体的精神的発動と訓練 第五章 道德的知見と道德的修練 第六章 生活と性格陶冶 戦後新教育の主流となつてきたアメリカ教育学の潮流とは一線を画して、道德的性 格の形成のために、教育者が被教育者の意思と感情に働きかけることを説く。この著作の刊行によつて、篠原は長年構想してきた教育学体系を完成させた。

解説 木内陽一(鳴門教育大学教授) / 略年譜

篠原助市 略年譜

*年譜作成にあたり「批判的教育学の問題(世界教育学選集55)」(明治図書出版 一九七〇)所載の梅根悟による解説を参照した。

六月六日、愛媛県周桑郡中川村字来見(現西条市)に生まれる。生家は越智姓。三歳のときに同郡田野村字田野の篠原家へ養子にもられる。

松山市にある愛媛県尋常師範学校に入学。師範学校を卒業。周桑郡の福岡高等小学校の訓導となる。同郡内の壬生川尋常小学校の校長に任命される。東京高等師範学校に入学。英語科を専攻。同年九月から東大の選科にも入学し、哲学、倫理学、教育学、心理学などの講義を聴く。

デュイーの「学校と社会」を読み、強い感銘を受ける。福井師範学校付属小学校の主事に迎えられる。京都大学文学部哲学科の学生となり、朝永三十郎の哲学史に師事(その後、つづいて大学院生となる)。母校東京高等師範学校の教育学教授となる。

新設される東北帝国大学法文学部の教授を受諾。「批判的教育学の問題」刊行。学部設立まで海外留学のため米国へ出発(同年八月に夫人の病状悪化のため一時帰国)。パリを経てベルリン、ロンドンへ渡る。夫人逝去のため帰国。東北帝国大学法文学部の教授に迎えられる。「理論的教育学」刊行。

東京文理大学教授となる。「教育の本質と教育学」刊行。「教育断想」刊行 「シュライエルマッヘル」「教育学(岩波全書)」刊行 「教授原論」刊行 「訓練原論」刊行 八月二日、逝去

一八七六(明治九年)	三〇歳
一九〇六(明治三九年)	三六歳
一九一〇(明治三五年)	四〇歳
一九一〇(明治三五年)	四三歳
一九一九(大正八年)	四六歳
一九二二(大正一一年)	四七歳
一九二二(大正一一年)	四七歳
一九二九(昭和四年)	五三歳
一九三〇(昭和五年)	五四歳
一九三八(昭和十三年)	六二歳
一九三九(昭和十四年)	六三歳
一九四二(昭和十七年)	六六歳
一九五〇(昭和二十五年)	七四歳
一九五七(昭和三十一年)	八一歳

篠原助市著作集 全7巻

■定 価 96,600円 (本体92,000円+税) ISBN978-4-284-10307-7

■解 説 木内陽一 (鳴門教育大学教授)

■体 裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約3,000頁

■刊 行 2010年10月

■収録内容

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 第1巻 批判的教育学の問題 (東京宝文館 1922) | 第5巻 シュライエルマッヘル (岩波書店 1939) |
| 第2巻 理論的教育学 (教育研究会 1929) | 教育学 (岩波全書) (岩波書店 1939) |
| 第3巻 教育の本質と教育学 (教育研究会 1930) | 第6巻 教授原論 (岩波書店 1942) |
| 第4巻 教育断想 (宝文館 1938) | 第7巻 訓練原論 (宝文館 1950) |

おすすめ先 大学・公共図書館 / 教育学・教育史・教育思想史の研究者 / 教育センター資料室など

〈学術著作集ライブラリー〉続刊予定 (*順不同)

田中王堂、春山作樹、谷本富、小泉郁子、木村素衛、青木誠四郎、高坂正顕、蛭山政道ほか

好評既刊・新刊

鶴見祐輔著作集 全8巻



- 定価 98,700円 (本体94,000円+税)
ISBN978-4-284-10298-8
 - 体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,000頁
 - 刊行 2010年10月
 - 底本 『成城だより』全8巻 (太平洋出版社 1948-1950)
 - 収録内容
- | | |
|------------|--------------|
| 第1巻 冬来りなば | 第6巻 筆は剣よりも強し |
| 第2巻 自由への闘ひ | 第7巻 感激の生活 |
| 第3巻 夢を抱いて | 第8巻 自由と秩序 |
| 第4巻 文明の行くえ | |
| 第5巻 永遠の師 | |

沖野岩三郎著作集 全6巻



- 定価 94,500円 (本体90,000円+税)
ISBN978-4-284-10290-2
 - 体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,800頁
 - 刊行 2010年9月
 - 解説・略年譜 太田雅夫 (元桃山学院大学教育研究所所長)
 - 収録内容
- | |
|----------------|
| 第1巻 煉瓦の雨 |
| 第2巻 宿命 |
| 第3巻 生を賭して / 潭池 |
| 第4巻 薄氷を踏みて |
| 第5巻 生れざりせば |
| 第6巻 宿命論者のことば |
- 解説・略年譜

乙竹岩造著作集 全6巻



- 定価 98,700円 (本体94,000円+税)
ISBN978-4-284-10220-9
 - 体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,900頁
 - 刊行 2010年3月
 - 解説・年譜 樽松かほる (桜美林大学教授)
 - 収録内容
- | |
|-----------------|
| 第1巻 欧米教育視察報告十二集 |
| 第2・3巻 実験教育学 |
| 第4巻 戦近教育事実の進歩 |
| 第5巻 現代教育学汎論 |
| 第6巻 日本教育学の枢軸 |
- 解説・略年譜

高島平三郎著作集 全6巻



- 定価 89,250円 (本体85,000円+税)
ISBN978-4-284-10193-6
 - 体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,900頁
 - 刊行 2009年11月
 - 解説 大泉博 (日本福祉大学教授)
 - 収録内容
- | |
|--------------------------|
| 第1巻 師範学校教科用書 心理綱要 / 心理漫筆 |
| 第2巻 新撰教育学講義 / 女子新教育学 |
| 第3巻 体育原理 |
| 第4巻 児童心理講話 |
| 第5巻 婦人の爲めに |
| 第6巻 心理学綱要 |
- 解説・年譜

〈発行〉

学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157
http://www.gaku-jutsu.co.jp
E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774
http://www.nihontosho.co.jp

取扱書店